

健康づくり・医療・福祉の連動を目指して

健康ちば21



平成20年3月

千葉県

はじめに

健康であることはすべての人の願いであり、県民一人ひとりの幸福な人生を実現するための基本です。

千葉県は、子どもから高齢者まで、県民のだれもが生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、県民一人ひとりの視点に立って、総合的な健康づくりを展開しています。

平成13年度には「健康ちば21」を策定し、それまでの地域や学校など集団を対象とする健康づくりではなく、一人ひとりを対象とした、個人が主体的に取り組める健康づくりを推進しています。また、女性専用外来をはじめとした性差医療の取り組みなど、「生涯を通じた女性の健康支援」を行っています。

現在、日本は世界有数の長寿国となり、人生50年時代に比べ、30年以上の歳月を生き、まさに人生80年、90年時代を享受しています。つまり、長寿社会をいかに健康に充実して暮らすことができるかが私たちにとっての新しい課題になっています。それは同時に、新しい可能性への挑戦でもあります。

また、安心して子どもを産み、ゆとりを持って健やかに育てるための環境づくりや、一人ひとりの健康観やライフスタイルを考慮したきめの細かな保健医療対策もますます重要となっています。

さらに、死亡原因の6割・医療費の3分の1を占めている、がんや心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病には、内臓肥満型の肥満、いわゆるメタボリックシンドロームが大きく関わっており、早急な対策が必要です。

このような中、従来のように、健康づくり・医療・福祉の施策が縦割りでよいはありません。

健康づくり、医療の提供そして福祉サービスが、生涯を通じて継続的かつ一元的に提供されることが、県民にとって何よりも必要なはずです。そういった視点から、「健康ちば21」を大幅に見直し、本計画を策定しました。

策定にあたっては、「健康福祉千葉方式」により、県民と白紙の段階から議論を重ね、全国初の試みとして、「健康ちば21」、「千葉県保健医療計画」、「千葉県地域福祉支援計画」の3計画合同のタウン

ミーティング等を実施し、多くの県民の意見・提案を反映させたものとなりました。

具体的には、県民の望みでもある「自分らしく、いきいきと、暮らし続けるために、一人ひとりの健康力を育てよう」を基本理念とし、「平均寿命の延伸」「健康寿命の延伸」「生活の質の向上」を3つの基本目標として掲げております。

この目標達成のため「がんの予防」「脱メタボリックシンドローム」「こころの健康づくり」「一人ひとりのニーズにあった健康づくり」を重点課題として、がん検診や特定健診の受診率の向上、自殺対策、すべての県民それぞれの健康づくりプログラムの作成等を具体的事業として取り組んでいくこととしました。

また、「3計画合同のタウンミーティング」で提案された600万県民が各々責任を持ちながら積極的に健康づくりに取り組んでいく「健康県ちば宣言」プロジェクトも開始されました。

このプロジェクトは、高齢の方も若い方も、障害のある方もない方も、さらには病気にかかっている方も、それぞれの方にとっての健康を大切にするために、「私の健康宣言」をしていただき、これを積み重ねることにより「健康県ちば」の実現を目指すものです。

県民一人ひとりが、健康づくりの大切さを十分理解し、「健康はつくるもの」という視点に立った積極的な健康づくりが県全体に広がることが大切です。

そのためには、予防の段階で自分の「健康宣言」に添った健康づくりプログラムを持ち、家庭や地域、学校や職場での健康づくりを県民運動として、日本一の「健康県ちば」が実現できるよう取り組んでまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願いいたします。

終わりに、本計画の策定にあたり、多大な御尽力をいただいた「健康ちば21見直し作業部会」等の委員の皆様をはじめ、タウンミーティング等の開催に御協力をいただいた皆様や、御意見、御提案をお寄せいただいた方々に対し、厚くお礼申し上げます。

平成20年3月

千葉県知事 堂本 暁子



計画目次

I 健康づくり・医療・福祉の連動	
1 健康県ちば宣言	2
2 健康づくり・医療・福祉の連動の基本的な考え方	4
3 健康づくり・医療・福祉の連動が目指す施策展開	9
4 健康づくり・医療・福祉の連動に向けた取組み	13
5 健康づくり・医療・福祉の連動を支える千葉方式	15
II 計画策定にあたって	
1 策定の背景	28
2 計画の位置付け	29
3 計画の期間	29
III 計画の基本的な考え方	
1 基本理念	32
2 基本方針	34
(1) 基本目標	34
(2) 重点課題と取り組みの方向	35
(3) 県民個々人の目標とする行動	37
(4) 行政、地域社会の目標とする施策	39
(5) ライフステージごとの健康づくり	41
3 施策の体系図	42
IV 目標と施策の方向	
1 生涯を通じた健康づくり	44
2 一人ひとりに応じた健康づくり	60
3 使い勝手のいい多様なメニュー	73
4 連携による健康力アップ	85
5 みんなで担う健康な街づくり	101
6 千葉県の健康目標	117
V ライフステージごとの健康づくり	
1 各年代に応じた健康づくり	140
(1) 幼年期 (おおよそ 0～4歳)	141
(2) 少年期 (おおよそ 5～14歳)	143
(3) 青年期 (おおよそ 15～24歳)	145
(4) 壮年期 (おおよそ 25～39歳)	148
(5) 中年期 (おおよそ 40～64歳)	151
(6) 高齢期 (おおよそ 65～74歳)	154
(7) 長寿期 (おおよそ 75歳以上)	156

2	性差を考慮した健康支援（女性の医療と健康づくり）	158
(1)	現状	158
(2)	課題	160
(3)	ライフステージごとの健康づくり（女性）	164

VI 計画の推進に向けて

1	協働による計画の推進	170
2	計画の推進体制	171
3	評価	171

[資料編]

資料1	千葉県の現状と課題	173
資料2	2次医療圏別資料	214
資料3	用語解説	229
資料4	健康ちば21見直し作業部会委員名簿	234
資料5	健康ちば21見直し作業部会等開催状況	235
資料6	タウンミーティング等開催状況	236